

すべての人に やさしい まちを みんなで

市政ガイド2024
目次

2-3 まちづくり総論
4-5 こどもを核としたまちづくり
6-7 子ども一人ひとりに寄り添います

8-9 誰もが暮らしやすいまちに
10-11 住み慣れた地域で安心して暮らす
12 地球と自然にもやさしいまちへ

11年連続人口増

過去最高人口更新中!
305,880人
(2023年10月1日現在)

290,657人
(2012年10月1日現在)



25~39歳、0~4歳が転入超過に

	転入超過数
25~39歳	8,322人
0~4歳	1,891人

※2013~2022年の累計



中核市人口増加率第1位

5年間で10,429人増加

※国勢調査2020年と2015年を比較した人口増加率のランキング

住みやすいと感じる人9割に

市民満足度上昇中

※明石市市民意識調査2019から

明石市ってこんなまち

海のまち



自然豊かな里山・里地・里海

時のまち



日本標準時子午線

歴史のまち



城下町としての歴史も

交通の便が良い!

大阪や姫路からも通勤圏内でベッドタウン



日照時間と降水量の少なさ関西一*



穏やかで過ごしやすい気候も明石の大きな魅力のひとつ

※気象庁ホームページから人口5万人以上の都市部を比較

身近に公園がたくさん!

面積あたりの都市公園の数も県内トップクラス



市民と共に創るまちづくり

市民との対話や交流を大切に

市は、SDGsの基本理念でもある「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、一人ひとりに寄り添うセーフティネットについて全国に先駆けて取り組みを進めてきました。

また、「こどもを核としたまちづくり」を掲げて施策を進めてきた結果、子育て世代を中心とした転入超過により、11年連続で人口が増え、まちに賑わいや活気があふれています。

この2つをまちづくりの柱としながら、さまざまな地域課題に対しても、市民一人ひとりの声を丁寧に聞き、対話や交流を通じて市民と共に市民のための明石のまちを創っていきます。

明石市長 丸谷 聡子



タウンミーティング 市民との対話の場を毎月開催

障害・子育て・高齢者・若者・環境・にぎわいなどさまざまなテーマで開催しています。



市長へのおてがみ まるちゃんポスト

市長へのおてがみ まるちゃんポストはこちら

市民と行政が情報を共有し、対話を通じて一緒にまちづくりを進めます。



まるちゃんねる (明石市長動画)はこちら

「産・官・学・民」連携して 市民と共に地域課題を解決へ

さまざまな知見を持った企業や教育機関等と行政が連携して地域課題の解決のために取り組みを進めていきます。



ペットボトルの循環利用の推進へ向け 明石市と飲料メーカーが協定を締結

市立の高校に福祉科 2024年4月 開設予定



福祉の専門科目を学び、福祉のまちのリーダーとなる人材の育成を目指し、市立明石商業高校に福祉科を開設する予定です。

自然との共生

自然と調和のとれたまちづくり

里山や里地、里海など豊かな生態系を守り、次の世代に引き継いでいくための取り組みを近隣自治体と共に進めています(12面)。



オニバス



コウノトリ

子どもの育ちを応援

一人ひとりに寄り添う

安心して子育てができるよう「こどもを核としたまちづくり(4-5面)」を進めています。また、それぞれの子ども状況に応じて一人ひとりに寄り添う支援も行っています。

